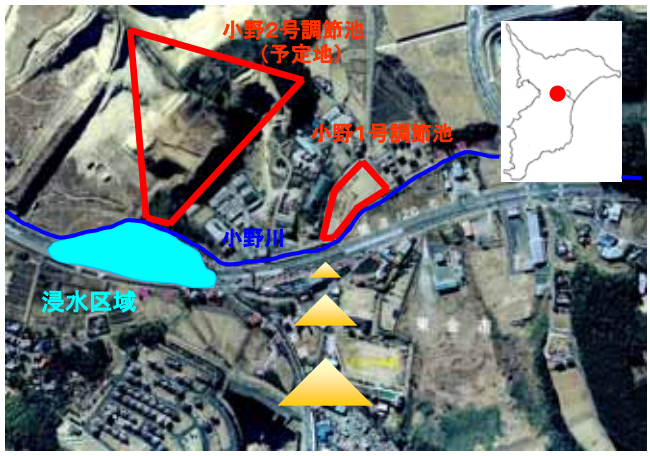
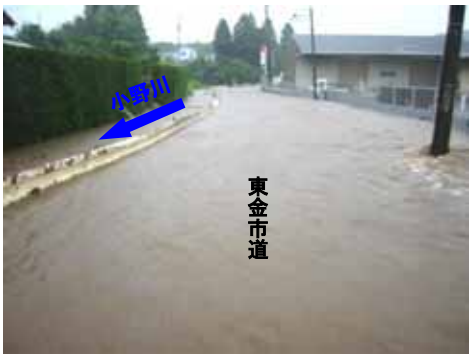
統合準用河川小野川改修事業の効果について

調節池及び河道の整備により浸水被害を阻止
《準用河川小野川（千葉県）》

○小野川は、2級河川真亀川の支川で、流域面積9．5km²、延長3．27kmの準用河川である。
○近年、小野川流域上流部において開発が進み、流出量の増大による家屋の浸水や国道126号冠水等の被害が発生。
○平成8年の台風17号で浸水戸数119戸、国道126号において冠水による通行止めの被害が発生。
○このため、統合準用河川改修事業で調節池及び河道の整備による浸水対策を実施。



○調節池（1号・2号）の築造及び河道の整備を実施することにより、台風・大雨などによる浸水被害を阻止する。



平成15年8月集中豪雨（東金市小野地先）

平成8年の台風17号によって、国道126号が道路冠水し上下線通行止めとなり、地域生活や交通機関に重大な影響を与えた。

平常時（国道126号東金市小野地先）

総雨量262㎜

平成8年9月台風17号冠水（国道126号東金市小野地先）